

姫城中学校だより



令和7年10月17日 校長 深江 祐史

当日の朝まで心配した天候も願いが通じて、雲ひとつない見事な快晴の中、令和7年度第77回体育大会が、10月12日(日)に行われました。

前夜は雨、朝もどんよりとした雲に覆われていましたが、徐々に雲は流れ、今度は気温上昇による熱中症を心配しました。しかし、それまでの練習でかなり体も暑さに慣れていたのだと思います。重度の熱中症の症状を訴える生徒もなく、無事に体育大会を実施することができました。それでは、当日の様子を少しだけご紹介します。

↓ ハイレベルな両団の装飾 ↓



<生徒会考案の大会スローガン>



<青団装飾>



<赤団装飾>

【エール交換】

プログラムの最初はエール交換。団長やリーダーだけでなく、団員全員の振り付けて、すばらしいエール交換が大会のスタートを飾りました。

青団:瀬戸口 波輝(せとぐち はる)団長、野町 心優(のまち みゆ)副団長、赤団:福元 紗王(ふくもと れお)団長、九鬼 小夏(くき こなつ)副団長、4人の力強いエールは、とても響きました。



【特選(選抜男女)50m・100m】

競技のトップを飾ったのは選抜 50m・100m。予行の時とは明らかに違う緊張感がありました。絶対に負けたくない気持ちからフライングしてしまう姿も見られましたが、どの選手も全力、さすが選抜種目のスピードでした。

【学級対抗リレー】

クラスの団結力で勝負するのが学級対抗リレー。目まぐるしく順位が入れ変わるので、目が離せません。美しいバトンパスあり(スピードが落ちない!)、タイミングが合わずゾーンギリギリでのパスあり、足の速い人もそうでない人も何とか自分のベストを尽くしてバトンをつなぎました。差がついていても、最後まで力を抜かずに走る姿は応援したくなるものです。来賓の方々からも大きな拍手がありました。僅差の勝負に勝ったクラス、残念ながら、ゾーンオーバーで失格となってしまったクラスなど、悲喜こもごもでしたが、どのクラスも一生懸命でした。優勝した学級の皆さんおめでとうございました!



【団技】

1年生は「私たちの日々～ぐるぐるぐる～」(いわゆる台風の目)でした。相当練習したのでしょうか、予行の時よりも速かったです。中心のコーンに出来るだけ近づいてコンパクトに回る工夫をしたり、内側と外側で歩幅を調整する組もありました。また、バーを跳ぶタイミングが団員全員がそろった時はとても見事で、見応えがありました。皆必死で、最後まで、大接戦となった1年生団技でした。



2年生は「まわしてポン～Himegi Cowboy2025～」でした。説明するのが少し難しい競技ですが、①4人一組で騎馬を作り、②上の乗る者が、ロープの付いたボールをぐるぐる回して進み③目標物の手前でストップし、④ロープの付いたボールを目標物に当てて「ポン」と落とす……誰

が考案したのか、とてもユニークな競技でした。予行の時になかなか目標物に届かなくて苦戦していた組の様子を見て本番を心配していたのですが、さすがに本番はうまくいってましたね。男女の合計タイムで争うルールも盛り上がってよかったです。



そして3年生は、伝統の綱引きです。単純で、わかりやすく、それでいて盛り上がる体育大会ではおなじみの競技です。始まる前の緊張感の中、有木さんの号砲で一斉に綱が引かれます。本部から見ると両団の必死の姿が近くにあって、見ている側も思わず力が入ります。最初は男女別、最後は男女一緒になって団全員での対戦になるのですが、中には綱がほとんど動かないまま（制限時間が来て）終了。審判をしていた先生に迫る両団の選手達、判定が出る前の静けさと出た後の爆発的な歓声、とても白熱した勝負が見られました。両手を突き上げてはじける笑顔、敗れて苦笑いで尻餅をする姿、大いに盛り上りました。また、移動の際、相手の選手とハイタッチをしながら入れ替わるシーンはとてもよい画で、3年学年全体の雰囲気を感じることが出来ました。団技優勝した皆さん、おめでとうございました！



【男女別リレー・団対抗リレー】

さすが、各団から選出されたスピードスターが競うリレーでした。上の学年につながるごとにスピードが上がり、迫力がありました。ただ、学級対抗リレーと違うのは、選手の力に差がないこと。そのため一度差がつくと、学級対抗リレーのように簡単に逆転とはいかないなど感じました。優勝した団の皆さん、おめでとうございました。

競技が終わった後に、自分の団のテントの前で応援へのお礼の挨拶、そしてそれを大きな拍手で迎える団員の姿がとても印象的でした。一生懸命を認める空気が、姫城中には確実にあることを感じさせるシーンだったと思います。選手全員よく頑張りました！

【応援】

プログラムに応援の時間は3回ありましたが、どの回も団長・副団長・リーダーのリードのもと、団員が声をからし、躍動し、制限時間一杯をつかった見事な応援でした。また、競技の中でも選手の名前を大きな声で後押しするなど、団の一体感を感じさせる応援がありました。暑さもあり、最後までもつか心配になるほどの熱量でしたが、両団とも最後までやりきりました。一人では決して味わえない、仲間がいるから味わえる感動や充実感を体感することができたのではないかでしょうか。



以上、体育大会の様子の抜粋でした。見事、競技優勝と応援優勝を手にした赤団の皆さん、おめでとうございました。そして、残念ながら賞をとることはできませんでしたが、最後まであきらめずに一生懸命頑張った青団の皆さん、本当によく頑張りました。

中学生最後の体育大会が、3年生の思い出の残るものになったとしたら幸いです。団装飾や放送、競技役員、実行委員会、生徒会の皆さん、ありがとうございました。また、サポートして頂きましたPTA役員の皆さん、本当にお世話になりました。心より感謝いたします。

なお、今回、体調不良等で参加できなかった皆さん、残念だったと思いますが、次の機会でまた仲間と一緒に頑張りましょう。中学校生活は、まだまだこれからです！



<閉会式での 壽福 陸斗(じゅふく りくと) 実行委員長挨拶>